

本時のねらい

- ・気持ちを表す言葉があることを知る。
- ・気持ちを表す言葉の分類をする。
- ・気持ちを表す文章を考え、書く。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・スプレッドシートやスライドを活用して、情報を収集したり共有したりする。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Google スプレッドシート ・Google スライド

本時で育む主な情報活用能力

A-STEP1, L-STEP2
J-STEP2, E-STEP1

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



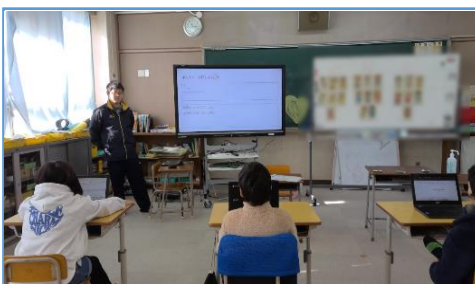
本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動と内容 | ICT 活用のポイント・工夫 |
|---------------|--|---|
| 導入 (10 分) | <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容をつかむ。 学習課題 「人物の気持ちを表す言葉を知り、使ってみよう」 ・学習課題をもとに、本時のめあてを設定する。 <p>【写真 1】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・スプレッドシートを用いてめあてを共有し、学習の見通しを立てやすくする。 |
| 展開 (25 分) | <ul style="list-style-type: none"> ・「うれしい」「かなしい」「いらいら」「くやしい」など色々な言葉を考え入力する。 ・クロームブックで気持ちを表す言葉を調べる。 ・スライドを使用して、それぞれの気持ちを表す言葉を分類する。 「うれしい・たのしい」「悲しい・不安」「イライラ・くやしい」 ・上記の言葉を使用した文章を考える。【写真 2】 | <ul style="list-style-type: none"> ・キーボード入力が不得意な児童がいるので、音声入力や手書き入力で支援する。 |
| まとめ (10 分) | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが書いた文章を共有する。 ・スプレッドシートにふりかえりを記入する。 <p>【写真 3】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学びが蓄積されていき、いつでも、どこでも学んだことが確認できる。 |

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】スプレッドシートを活用して、めあてを入力し、共有している様子



【写真 2】楽しい、うれしい言葉などを考えて、スライドにまとめている様子



【写真 3】本時の学習を振り返っている様子

児童生徒の反応や変容

- ・文字を書くことに抵抗がある子ども、自分に合った方法で文字入力することによって、「先生こうやんな」「これでいい？」など、試行錯誤しながら文章を考える姿が見られた。
- ・「めあて」を自分一人で考えるのが苦手な子ども、スプレッドシートで共有することで、「私もこれにしよう。」と、参考にして書くことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・「めあて」や「ふりかえり」を書くときに、友だちの記述を参考に行っている子どもがいた。その場で友だちの記述内容を参考にすることができるという ICT の強みが出た。
- ・音声入力や手書き入力など、キーボード入力ができなくても、ICT を活用することで、学びを進めることができる。